令和7年度みやざきビジネスアカデミー（個別スキルプログラム）運営業務委託 企画提案競技に係る質問に対する回答

質問内容		回答	回答日
1	仕様書 ○「成長産業分野」の具体化について 仕様書にある「成長産業分野」について、県として特に注力している具体的な産業分野のリストや定義があればご教示いただけるか。	本県では、フードビジネスや医療関連機器産業、自動車関連産業などを成長産業とし、育成に取り組んできました。 詳細は、「みやざき産業振興戦略」を御参照ください。 https://www.pref.miyazaki.lg.jp/shokoseisaku/kense/kekaku/shinkousennryaku.html	5月12日
2	仕様書 ○「デジタル技術の活用」について 仕様書で求められている「デジタル技術の活用」に関して、県として特に重視するスキルやツール（例：AI活用、データ分析、特定のソフトウェア等）があれば、参考に示していただけるか。	本県では、デジタル化を推進するにあたって基盤となる人材育成に向けて必要な取組の方向性を示した「産業におけるデジタル人材育成のための取組指針」を定めておりますので、本指針で目指すデジタル人材の育成に必要なスキルやツールについて、御提案いただきますようお願いいたします。 https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sangyoseisaku/press/2024/03/20240219172831.html	
3	仕様書 ○効果検証の具体性について 仕様書にあるプログラム効果の検証、特に「組織の行動変容に繋がる取組の有無等」について、県が期待する具体的な変化の例や測定指標があればご教示いただきたい。また、「ひなたMBA」の他プログラムとの指標統一のための県との事前協議は、どのようなプロセスやスケジュールで行われる想定か。	・プログラム終了後の変化の例としては、生産性向上による業務効率化、組織内のコミュニケーションの活発化、問題解決力の向上等を想定しています。測定指標は、特段定めておりません。 ・県との事前協議については、「ひなたMBA」で実施する他のプログラムのすべての受託者が決定して以降、県の主導により、打合せ等を随時実施していく想定です。	
4	仕様書 ○プラチナ大学連携プログラムの連携体制について 仕様書において、プラチナ大学連携プログラムの講師は三菱地所株式会社等が選定・調整するとあるが、受託者とこれらの連携機関との具体的な役割分担や、調整プロセスはどのように想定されているか。	仕様書に記載のとおりですが、三菱地所株式会社、宮崎県及び受託者の協議によりテーマ等を決定した上で、三菱地所株式会社が講師の選出・調整・連絡を行いますので、受託者は、（2）プログラム受講による効果の検証（3）広報・周知及び受講者の確保（4）企業担当者及び受講者の連絡先の提供（5）事業の運営マネジメントについて担っていただきます。	
5	実施要領 ○「連携体制」の証明について 参加資格要件にある「行政、教育関係機関、経済団体、金融機関、企業等との連携体制がとれること」について、既存の連携実績がない場合、どのような形で連携体制の構築計画を示せば要件を満たすと判断されるか。	本要件は、事業を受託した場合に、参加者の募集や具体的なプログラムの策定等に当たって県内の関係機関と連携することを求めるものであり、企画提案書においては、事業の実施に当たって想定している連携内容を記載してください。	
6	契約書（案） ○契約書（案）の別記について 業務委託契約書（案）に記載されている「別記1（個人情報取扱特記事項）および「別記2（情報セキュリティ関連業務特記事項）」の内容について、企画提案書提出前に確認することは可能か。	可能です。個別に御連絡ください。	

質問内容		回答	回答日
7	契約書（案） ○再委託の承認プロセスについて 業務委託契約書（案）において、再委託には事前の書面承認が必要とあるが、承認を得るための具体的な手続きや判断基準について、もし一般的なものがあれば教えていただけるか。	再委託が必要な業務及びその理由を記載いただいた再委託承諾申請書（指定様式なし）を御提出いただき、内容及び理由を踏まえ、再委託の必要があると認められた場合は再委託承諾をいたします。	5月12日
8	仕様書 講座は無料開催とあるが、交流会の参加費について、事前決済サービスなどの活用は可能か？	可能です。	5月13日